



心をそろえて

教務主任 加藤 利彦

皆さんが家に入るとき、履き物をきちんとそろえないで入ると、家の人に「履き物をそろえて入りなさい。」と言われませんか。玄関の履き物がそろっているということは、家族みんなの心がそろっているよい家庭だと思います。家族が朝、「おはよう。」と声をそろえるのも同じことです。

右の写真を見てください。6年生が佐渡体験教室へ行ったときの、夕食会場の入り口にそろえられた靴の様子です。2日目の朝食のときもきちんとそろえてありました。履いてきた靴がそろえられ並べられていて、6年生全員の心がそろっていて大変すばらしいなと思いました。



バスガイドさんには、「下山小の皆さんは挨拶がいいですね。」と褒められました。友達や先生方、お客さんへの元気のよい挨拶は心をそろえるスタートです。玄関の靴棚に靴をきちんと入れたり、ロッカーにランドセルをきちんと入れたりすることも、心をそろえることです。

大勢の人が仲良く暮らすには、心をそろえることが大切です。心がそろうとみんなが気持ちよい毎日になります。学校には、心をそろえるところがいっぱいあります。教室の机や椅子、ロッカーの中や上、雨具掛けの体育着の袋、体育館の用具室、給食が終わった後の食器かごの中、学習で使った様々な道具など、いろいろあります。みんなが心をそろえるとそれらはきちんとそろえられ、気持ちよく使いやすくなります。心をそろえるには、「自分から誰かのために。」という気持ちが大切なのです。

このように、心をそろえていることが目に見えるものもありますが、目に見えない場合もあります。友達とのつながりです。自分勝手な考えや行動は、友達と心がそろわないことになるのです。そうすると、誰かが悲しい気持ちになったり、辛い気持ちになったりしてしまいます。友達との心のつながりは、お互いを認め合うことでよりよくなります。いろいろな考え方をする人やいろいろ得意・不得意なことがある人を、お互いに認め合うことですばらしい友達関係ができるのです。友達と自分は違っているからよいのです。友達と心をそろえるということは、「みんな違って、みんないい。」と考え、お互いを認め合うことです。

今後も、下山小学校の全ての児童と職員が心をそろえて、よりよい教育活動になるようにしていきます。

佐渡での体験活動の様子（のろま人形絵付け、ろくろ体験、裂き織り体験）



5年1組

私が農業体験教室で心に残ったことは酪農の方のお話です。肉牛として生まれた牛は2年、豚は半年、ニワトリは90日で食用となり、短い寿命でかわいそうだと思います。でも私たちが生きるためには必要です。このことを知り、食べることは命をいただいているのだから感謝することが大切だと感じました。私は動物と触れ合うのが苦手だったけれど、今回の体験を通して動物のかわいさや命の大切さを知りました。今後学んだことを生かしていきたいです。

**5年2組**

私は、アグリパークに行き、酪農や農業について学びました。私が酪農家の方から聞いた話では、牛の乳は、一頭ずつではなく色々な機械を使い、何頭も一緒に搾ることが分かり、驚きました。次に、農業道場では、くわを持ってみて、昔の人の大変さが分かりました。色々な人から話を聞き、酪農や農業についてよく分かりました。野菜収穫、友達との宿泊も楽しかったです。

**5年3組**

アグリパークでの一番の思い出は、カレー作りです。最初に玉ねぎを収穫しました。土の中で根が絡まっていた、とるのが大変でした。その玉ねぎを使って、カレーを作りました。作るのは大変でしたが、班のみんなで協力して作ったので、すごくおいしくできました。初めて作ったカレーがおいしくできてうれしかったです。

**6年1組**

2日間で思い出に残ったのは、1日目のコース別体験活動です。宿根木を歩いたり、たらい舟を体験したりして佐渡の文化を学ぶことができました。ぼくは、「たらい舟」の体験が一番おもしろかったです。舟が進むように一生懸命こぎました。一緒に乗った友達と協力してこいで舟が進みました。とても楽しかったです。これから佐渡の文化や昔の人々の努力などについて、学んだことを思い出してまとめていきます。

**6年2組**

ぼくは、佐渡体験教室で、佐渡の文化や自然に触れることができました。僕が行った「南佐渡体験コース」では、たらい舟が一番思い出に残りました。船頭のお姉さんがこいでくれたときはとても気持ちよかったです。自分でこいでみたら、進みも回りもせずにくやしかったです。次に思い出に残ったのは、ホテルの部屋で過ごした時間です。初めて友達と一緒に寝ました。みんなでしゃべっていたのでなかなか眠れなかったのですが、すぐに静かになり、朝も6時に起きることができました。とても楽しい時間を過ごし、友達ともより仲良くなりました。

**6年3組**

私が佐渡体験教室を通して一番心に残っているのは、砂金とり体験です。砂金とり体験では、パンという大きなお皿を水の中で回して、金の重さを利用して砂金を探します。初めは簡単だと思っていたけど、やってみると難しくてびっくりしました。砂金がパンの中にあるかどうかを探すときはドキドキしました。あったときは、とてもうれしかったです。私は、佐渡体験教室で充実した2日間を過ごすことができて良かったです。これからは、佐渡で学んだことを学校生活で生かしたいと思います。

**6年4組**

佐渡体験教室を振り返って、ぼくはいろいろな人に感謝をしたいです。1人目は、バスガイドさんです。みんなの質問に答えてくれて、疲れが吹っ飛ばすような楽しく面白い遊びを考えて、場をなごませてくれました。2人目は、ホテル大佐渡のみなさんです。夜ご飯はすごくごうかで、とてもおいしかったです。お土産コーナーもいっぱい種類があり、「しおりに書いてあった品」と表示があったり、とてもきれいに並べてあったりしてびっくりしました。3人目は家族です。誰よりもぼくを思ってくれて、送り迎えをしてくれました。後で聞いた話では、夜にぼくの具合が悪くても気付くように、電話の着信音を最大にして待っていてくれたそうです。みんながぼくの知らないところで努力してくれて、感謝の気持ちでいっぱいです。

